

I 学校教育目標

～ 全力・挑戦・感謝 ～

II ミッション

自ら伸びようとする子供に育てる学校  
子供の力（知・徳・体）を伸ばす学校

III ビジョン

学校教育目標を「**全力・挑戦・感謝**」で取り組む。学力・体力の向上を図るため、ICTを効果的に活用し授業改善に取り組み、児童には全力で学習し、目標をもって挑戦することで主体性を育てる。全教職員の協力体制のもと、個を大切にされた教育活動を行う。

目指す学校像 ○子供の力（知・徳・体）を伸ばす学校  
○笑顔あふれる学校（あいさつ・返事・ありがとう・いじめがない【思いやり】）  
○元気を発信する学校（子供の学習【行事・参観日等】・校長だより・学校だより・HPで発信）  
○安全・安心な学校

学校は地域の方をはじめ、様々な方に支えられ教育活動を進めている。地域・関係機関と連携して、教育活動を推進していく。

IV 現状分析

- ・ 保護者・地域は学校に対して協力的であり学校教育への関心が高く、期待も大きい。
- ・ 保護者は災害後安心・安全な学校、子供たちの心の安定を願っている。
- ・ 学力の低い児童、基本的な生活習慣や学習習慣が身に付いていない児童が数名いる。また学年により学力差があり、さらなる授業改善や定着していない児童への個別指導が必要である。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大以降、健康や命を守ることへの意識は高まったが、生活リズムの安定、体力の向上に課題が見られる。
- ・ 小屋浦地区の復興、及び高速道路拡張工事のため、作業車の往来が多い。児童の交通安全に地域・保護者の方の協力があり、大変心強い。

V 目標及び取組

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
○課題に全力で粘り強く取り組む児童を育てる。	◎表現力の向上 ◎基礎学力の向上	○探究的な学びを意識した単元づくり ○ICTの効果的な活用の推進（ICTタイムの設定） ○はげみタイムの活用
○目標をもち挑戦する児童を育てる。	◎基礎体力の向上	○体育科の授業改善 ○各種検定での目標設定 ○体育朝会の充実・外遊びの奨励
○感謝の心をもち、進んで人のために行動する児童を育てる。	◎自己肯定感の高まり ◎自己有用感の高まり	○あいさつ・返事の定着 ○感謝の気持ちを育む活動の設定 ○人の役に立つことの実践
○保護者・地域から信頼される学校づくりを推進する。	◎家庭・地域との丁寧な連携	○校長だより、学校だより、学級だより、HPによる教育活動の発信・情報共有 ○心に寄り添う生徒指導と教育相談 ○保護者・地域への迅速で丁寧な対応（電話応対・学校メールなど） ○全学年外部の人材の活用（地域の人材・出前授業等）
	◎活力ある職員集団の形成	○面談等による役割や目標の確認 ○業務の効率化